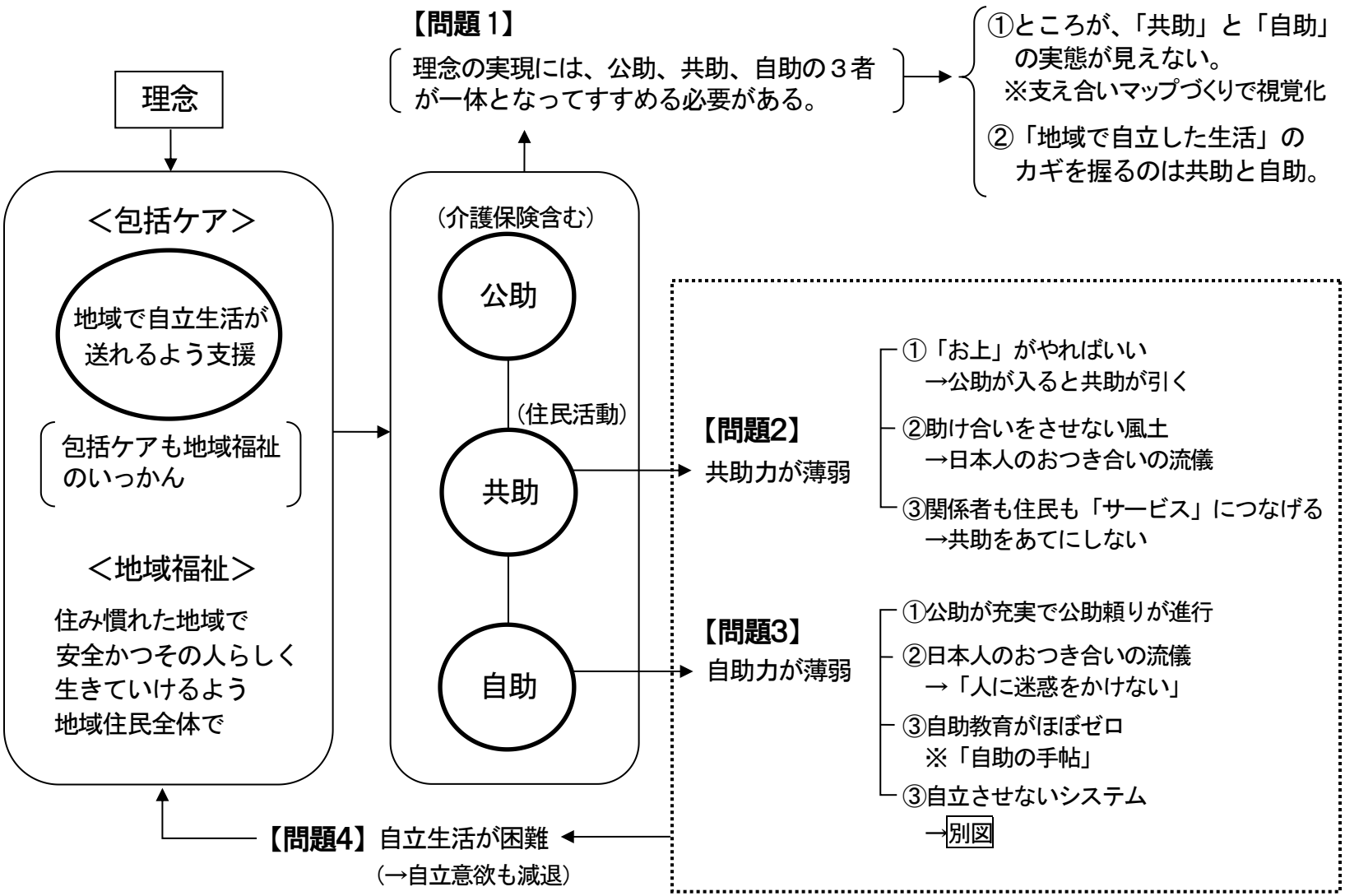
【問題 1】
理念の実現には、公助、共助、自助の３者が一体となってすすめる必要がある。
①ところが、「共助」と「自助」の実態が見えない。
※支え合いマップづくりで視覚化
②「地域で自立した生活」のカギを握るのは共助と自助。
理念
＜包括ケア＞
地域で自立生活が送れるよう支援
包括ケアも地域福祉のいっかん
＜地域福祉＞
住み慣れた地域で
安全かつその人らしく
生きていけるよう
地域住民全体で
（介護保険含む）
公助
（住民活動）
共助
自助
【問題2】
共助力が薄弱
①「お上」がやればいい
→公助が入ると共助が引く
②助け合いをさせない風土
→日本人のおつき合いの流儀
③関係者も住民も「サービス」につなげる
→共助をあてにしない
【問題3】
自助力が薄弱
①公助が充実で公助頼りが進行
②日本人のおつき合いの流儀
→「人に迷惑をかけない」
③自助教育がほぼゼロ
※「自助の手帖」
③自立させないシステム
→別図
【問題4】自立生活が困難
（→自立意欲も減退）